

平成30年上半期(1～6月)の東北の外国人宿泊者数、 前年同期比37%増、全国の他地域より高い伸び率

観光庁の宿泊旅行統計調査の平成30年6月分(第2次速報値)がとりまとめられたことを受け、東北運輸局管内(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県及び福島県)の集計結果を、以下のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。

1. 東北運輸局管内の外国人宿泊者数の推移(別添1)

○平成30年上半期(1～6月)の東北運輸局管内の延べ外国人宿泊者数は573,970人泊となっており、前年同期(419,450人泊)と比較して37%増加している。全国他地域と比較しても東北地域の伸び率が上回っている。(なお、全国の前年同期比は10%増であった。)

○また、平成30年6月の延べ外国人宿泊者数は72,560人泊となっており、前年同月(52,760人泊)と比較して38%増。震災前の平成22年同月比でも136%増となった。

2. 東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数の推移(別添2)

○平成30年上半期の米国については、青森県が好調であり、前年同期(8,520人泊)と比較して43%増(12,170人泊)となっている。またオーストラリアについては、山形県、宮城県が特に好調となっており、前年同期(1,510人泊、1,670人泊)と比較して82%増(2,740人泊)、56%増(2,600人泊)となった。

○平成30年6月単月については、中国及び台湾の好調が続いており、前年同月(10,890人泊、13,580人泊)と比較してそれぞれ26%増(13,750人泊)、90%増(25,780人泊)。震災前の平成22年同月比でもそれぞれ398%増、397%増となった。

3. 東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数の推移(別添3)

○平成30年上半期の県別外国人宿泊数については、岩手県及び宮城県が特に好調であり、前年同期(74,390人泊、105,990人泊)と比較して56%増(116,080人泊)、45%増(154,100人泊)となった。

○平成30年6月単月については、岩手県及び宮城県が特に好調であり、前年同月(8,890人泊、14,550人泊)と比較して47%増(13,040人泊)、75%増(25,410人泊)となった。

※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。平成30年1月以降は月ごとの第2次速報値。詳細につきましては、別添資料を参照願います。

その他、全国に関する調査結果等につきましては、観光庁の宿泊旅行統計調査のページ

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

を御覧ください。

《問い合わせ先》

東北運輸局 観光部国際観光課 中島・渡邊

TEL:022-791-7510

FAX:022-791-7538

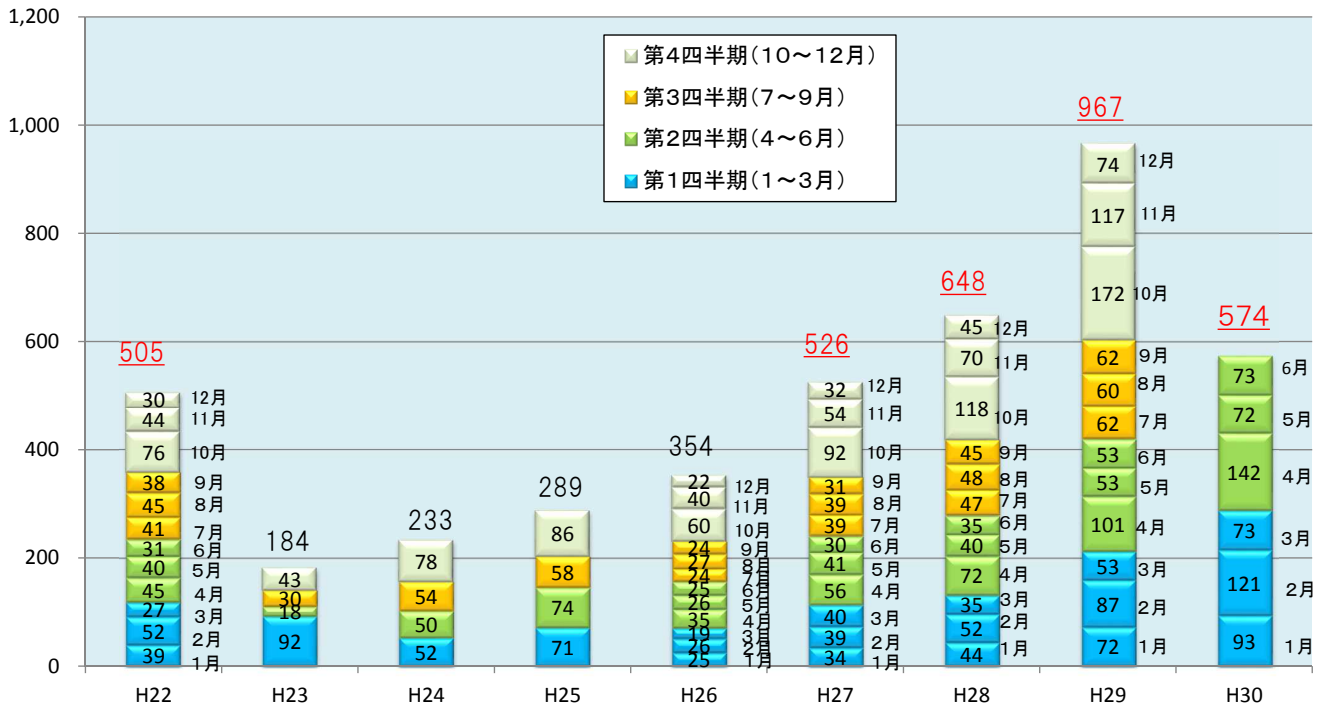
東北運輸局管内の外国人宿泊者数の推移



○平成29年の外国人延べ宿泊数の合計値は、平成28年の46%増となった。

○平成30年の外国人延べ宿泊数の合計値は、平成29年の37%増となった。

千人泊 ○平成22年～30年(1～6月) 東北運輸局管内の外国人延べ宿泊人数(月別)



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。平成30年1月以降は月ごとの第2次速報値。(出典:観光庁宿泊旅行統計)

東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数(その1)



(人泊)

国・地域	平成29年との比較						平成22年(震災前)との比較					
	総数 (平成30年6月の前年同月比)			総数 (平成30年1月～6月の前年同期比)			総数 (平成30年6月の平成22年同月比)			総数 (平成30年1月～6月の平成22年同期比)		
	平成29年	平成30年	伸率 (%)	平成29年	平成30年	伸率 (%)	平成22年	平成30年	伸率 (%)	平成22年	平成30年	伸率 (%)
総数	52,760	72,560	38	419,450	573,970	37	30,740	72,560	136	233,210	573,970	146
韓国	4,930	5,110	4	37,880	40,120	6	9,540	5,110	-46	66,300	40,120	-39
中国	10,890	13,750	26	74,660	95,130	27	2,760	13,750	398	20,010	95,130	375
香港	4,970	3,590	-28	24,970	33,300	33	3,420	3,590	5	28,720	33,300	16
台湾	13,580	25,780	90	149,040	228,630	53	5,190	25,780	397	59,720	228,630	283
アメリカ	5,480	6,510	19	33,150	32,480	-2	3,100	6,510	110	20,280	32,480	60
ロシア	400	150	-63	1,660	1,100	-34	100	150	50	840	1,100	31
シンガポール	710	810	14	5,130	7,310	42	350	810	131	2,900	7,310	152
タイ	1,370	1,530	12	24,770	34,140	38	310	1,530	394	2,630	34,140	1,198
マレーシア	170	560	229	1,860	3,570	92	50	560	1,020	910	3,570	292
オーストラリア	640	950	48	11,370	15,540	37	170	950	459	1,590	15,540	877
その他	9,620	13,820	44	54,960	82,650	50	5,750	13,820	140	29,310	82,650	182

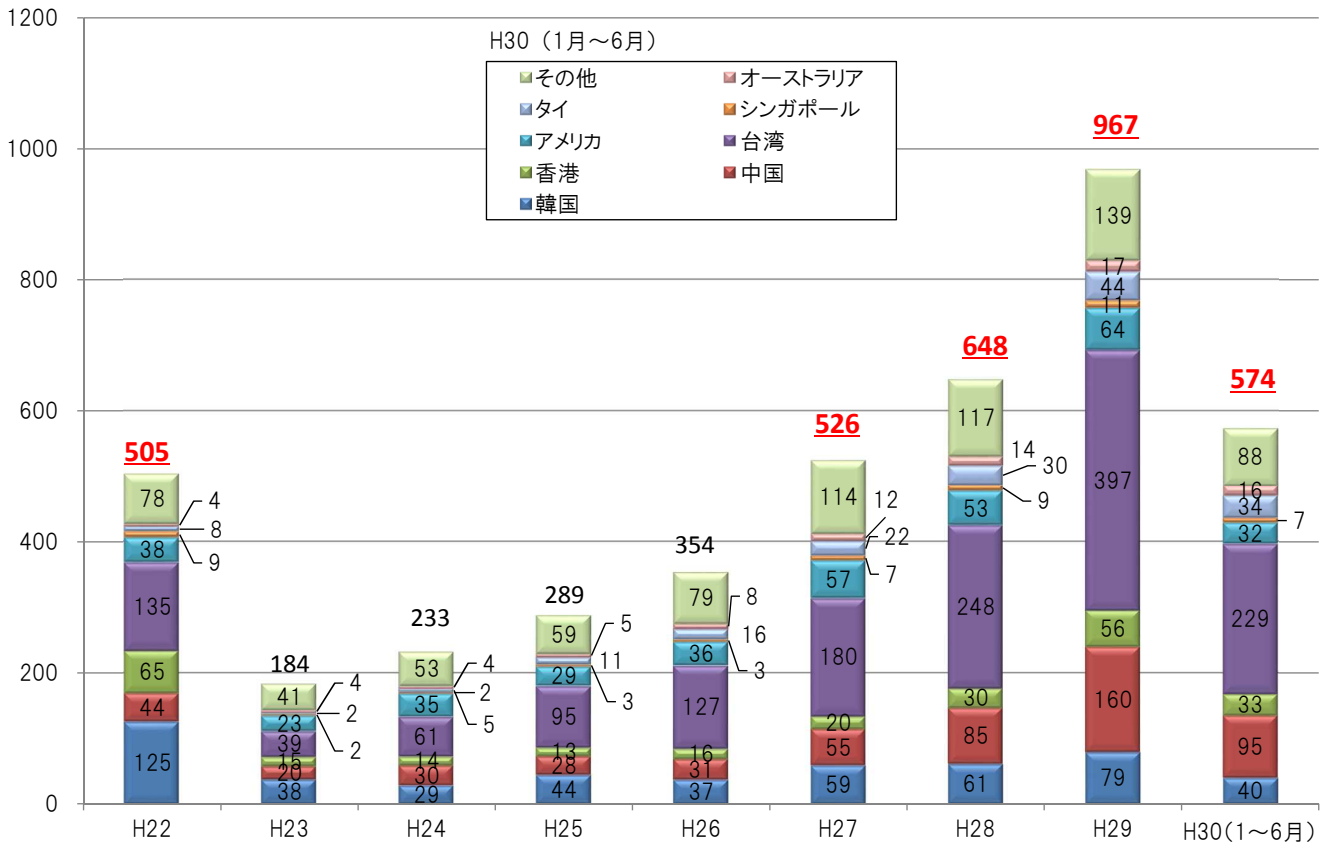
※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※平成30年1月以降は月ごとの第2次速報値 (出典:観光庁宿泊旅行統計)

東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数(その2)



千人泊

○平成22年～30年 東北運輸局管内の市場別外国人延べ宿泊人数



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※平成30年1月以降は月ごとの第2次速報値 (出典:観光庁宿泊旅行統計) 別添2-2

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その1)



- 岩手県の6月の増加の要因は、台湾の団体旅行の増加等による。
- 宮城県の前月の増加の要因は、台湾からの訪日客増加等による。

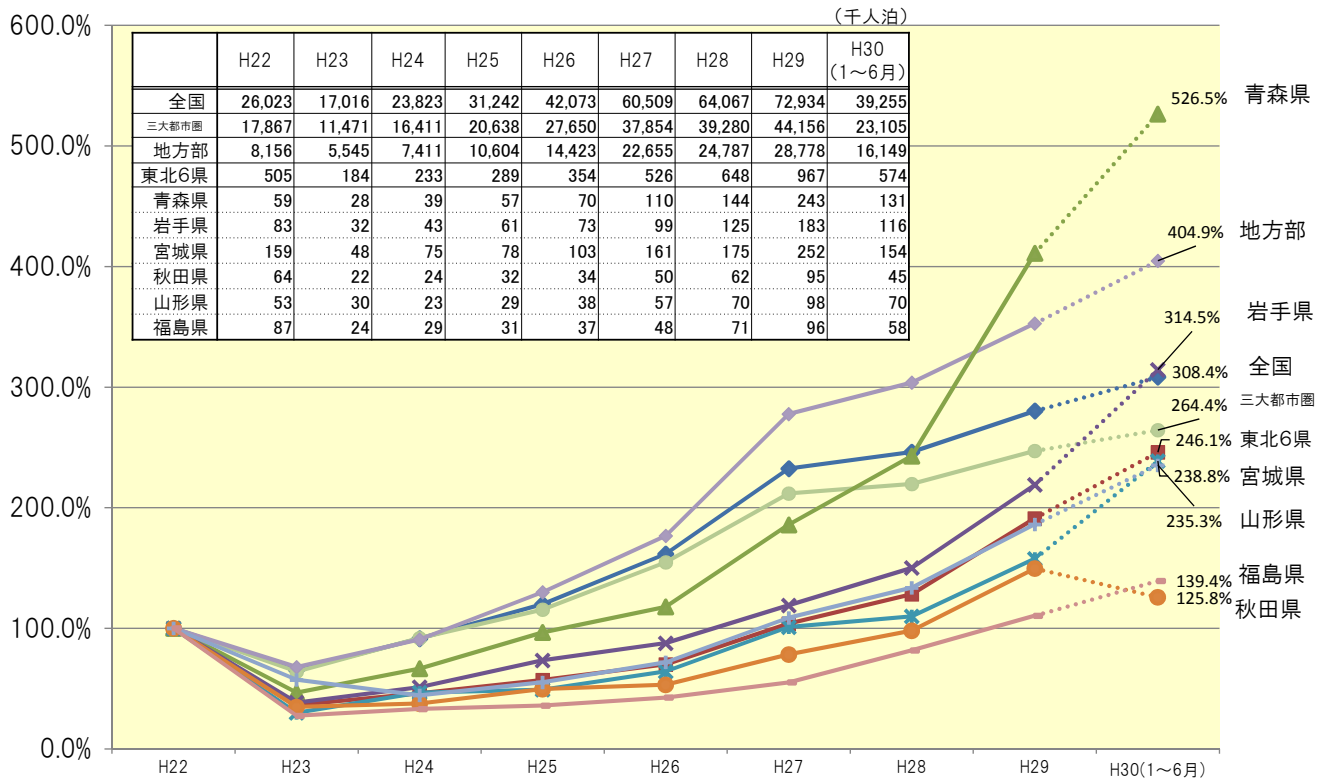
県	平成29年との比較						平成22年(震災前)との比較					
	総数 (平成30年6月の前年同月比)			総数 (平成30年1月～6月の前年同期比)			総数 (平成30年6月の平成22年同月比)			総数 (平成30年1月～6月の平成22年同期比)		
	平成29年	平成30年	伸率 (%)	平成29年	平成30年	伸率 (%)	平成22年	平成30年	伸率 (%)	平成22年	平成30年	伸率 (%)
全国	5,771,140	6,718,540	16	35,828,610	39,254,710	10	1,983,050	6,718,540	239	12,728,010	39,254,710	208
東北6県	52,760	72,560	38	419,450	573,970	37	30,740	72,560	136	233,210	573,970	146
青森県	15,370	18,900	23	96,360	130,840	36	3,820	18,900	395	24,850	130,840	427
岩手県	8,890	13,040	47	74,390	116,080	56	4,290	13,040	204	36,910	116,080	214
宮城県	14,550	25,410	75	105,990	154,100	45	8,530	25,410	198	64,530	154,100	139
秋田県	4,110	5,030	22	41,130	44,820	9	4,180	5,030	20	35,620	44,820	26
山形県	5,350	5,110	-4	54,230	70,480	30	2,050	5,110	149	29,950	70,480	135
福島県	4,490	5,070	13	47,350	57,650	22	7,880	5,070	-36	41,360	57,650	39

※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※平成30年1月以降は月ごとの第2次速報値 (出典:観光庁宿泊旅行統計) 別添3-1

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その2)



○各県へ来訪した外国人宿泊者数の推移（平成22年を100とした場合の指数）



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※H30の指数についてはH22の同期比。
 ※平成30年1月以降は月ごとの第2次速報値 (出典:観光庁宿泊旅行統計)

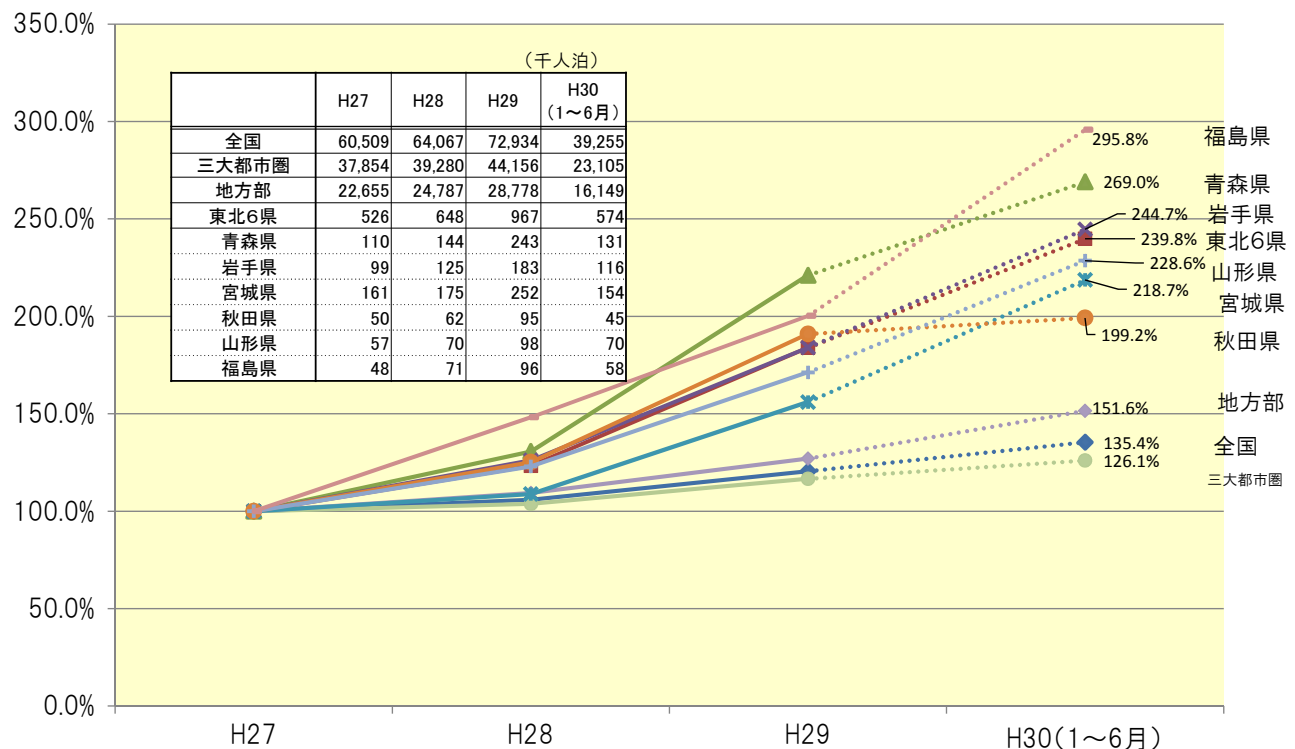
※三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

別添3-2

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その3)



○各県へ来訪した外国人宿泊者数の推移（平成27年を100とした場合の指数）



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※H30の指数についてはH27の同期比。
 ※平成30年1月以降は月ごとの第2次速報値 (出典:観光庁宿泊旅行統計)

※三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

※「明日の日本を支える観光ビジョン」において、東北6県の外国人宿泊者数を2020年150万人泊(2015年の3倍)にすることが掲げられている。

別添3-3